

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるみあ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月7日		～ 令和7年3月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和7年3月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来的な自立を目標とした集団行動と場面ごとの切り替えを意識した支援内容。	集団行動を通じて、他者との関わり方や社会的なルールを体験、学ぶ機会を提供している。	引き続き、集団での場面を想定したプログラムを提供していく。
2	雲梯、ボルダリング、トランポリン、鉄棒、跳び箱などを使用した体操中心の運動療育。	運動療育を通して、身体を動かすことの楽しさを知っていただき、得意や苦手を問わず、成功体験を増やす事で自己肯定感の向上を図っている。	より全身的な運動が行えるように、機材や物品を拡充し、プログラムが固定しないようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設して半年のため、他事業所との連携が薄い。	連携が取れる事業所数が少ない。	支援内容に反映するため、他事業所を併用している利用者様がいる場合、情報共有を行うために連絡を取り合っていく。
2	バリアフリー化が進んでいない。	事業所が2階にあり、事業所内にも段差がある場所が複数ある。	段差を小さくするための台やスロープの設置を検討する。
3			